

～最高のみかんを届けたい～
菊池 安光さん(伊方町)

農業生産法人みさき果樹園代表取締役 1971年生まれ
ホームページ <http://www.misaki-kajuen.com>



☆経営概況☆

果樹生産（温州みかん8ha、伊予柑 1.8ha 不知火 1.5ha 清見 1.2ha その他 2.5ha 計 15ha、約 450t）に加え、ネット販売及び卸売業（約 3,500t）も営んでいます。

雇用は、常時雇用 8 人、外国人実習生 5 人、繁忙期パート 25 人、アルバイト 19 人で経営しています。夏場の労力調整のため、加工・野菜生産にも取り組んでいます。

☆ここがポイント☆

■会社経営の確立

昭和 43 年に会社を設立し、昔から法人化はしていましたが、農業者としていち早く会社経営（平成 18 年）に踏み出すことで、地域農業のモデル的な存在になりました。

■耕作放棄地の受け皿に！

地元の耕作放棄地抑止の受け皿となって、農地の購入や耕作の依頼があったときは応じるようにしており、地元農家の信頼を得ながら自社生産量を拡大してきました。そして、できるだけ地域に住んでいる方々を雇用するよう努めるなど、地域と共に農業の振興に取り組んでいます。

■安全・安心への取組み、雇用労力の有効活用及び周年供給体制への挑戦

生協との取引を積極的に進め、農薬散布回数を一般園の半分としたエコえひめ（50%減農薬、約 150t）栽培にも取り組んでいます。

雇用労力の有効活用のため、以下のことに取り組んでいます。①生産・販売の中で規格外の果実を利用するため、加工室を新たに設置（急速冷凍・乾燥設備を導入）し、夏場にゼリー等の加工品を生産しています。②大洲の遊休の国営農地を借り受け、タマネギ栽培に取り組んでいます。

栽培品種は、11 月から 7 月まで切れ目なく出荷できる体制を整えています。

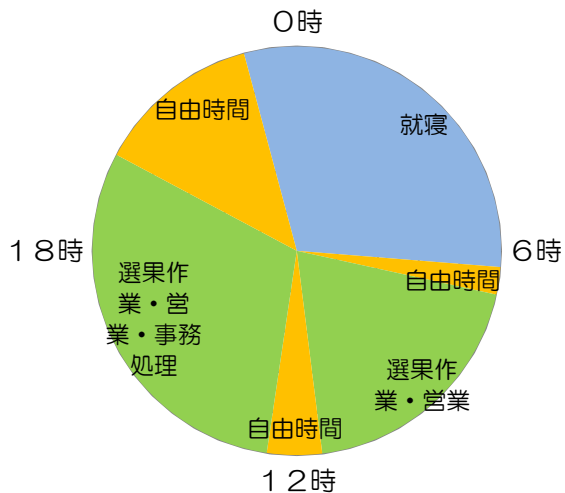


みさき果樹園全員集合!



大型の選果機を導入して多様な顧客に対応

【一日のライフスタイル】



【普段の生活について】

趣味は特にはありませんが、ほとんどの日曜日は3人の子供の野球やソフトボールの練習の指導や大会、練習試合の観戦に行っています。子供の成長している姿を見ることが今の楽しみです。繁忙期でも販売部門は必ず日曜日は休みにして、仕事のことはなるべく考えないようにして、リフレッシュするようにしています。生産部門は、11月～12月は日曜日も収穫を行っています。

【一週間のライフスタイル】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 選果作業等 →					← 休日 →
【普通期】	← 農作業等 →					← 休日 →



園地は省力化を図り高品質生産を実践中



休みの日は家族サービスに全力投球

☆これからの夢や目指すもの☆

現在、自社製品の周年供給を図るため、他社と差別化した加工品を開発中であり、加工果実も生果実と同等の単価を取れるような仕組みづくりを検討しています。かんきつの加工部門が上手く行くことにより、年間通じての販売と雇用の増大と収益の向上に繋がって行きたいと思えます。

☆メッセージ☆

ネット販売・生協・スーパー・コンビニと販路拡大を行い、生産したかんきつと自社の加工品は、自分で単価を決められる様な販売体型を構築し、消費者に喜ばれ、選ばれる会社を目指します。